

生徒の感想（「自分らしく生きるとは」という問いかけに対する答え）

- 「みんなと違う」ということで悩まなくても「これが自分だ！」と言うふうに生きれたらめっちゃいいと思う。人はみんな違ってみんないいし、違いがあるからこそ、人々も面白い！自分に自信をもって生きる！
- 堂々と自分を出していることだと思います。恥ずかしいとか誰かに言われたらどうしようとか思わず堂々としていることだと思います。
- 秘密や隠し事をせず悩めないために、信用できる人に相談して、ありのままの自分で生きていく。

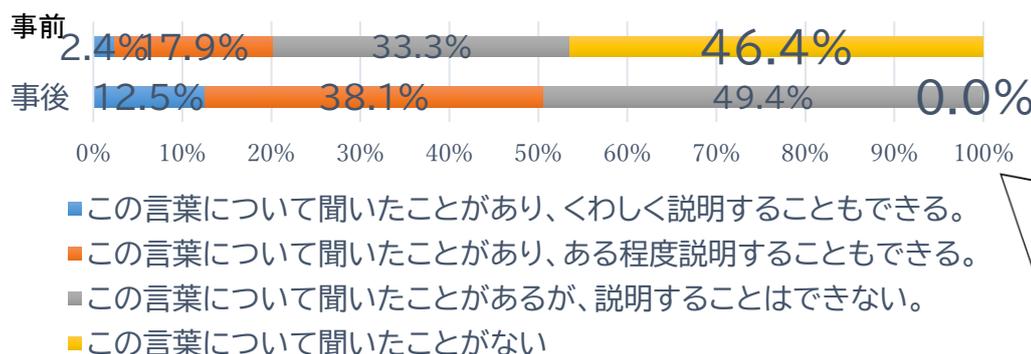
生徒の感想（「多様性が尊重される社会になるために大切なことは何だと思いますか。」という問いかけに対する答え）

- 一人ひとりが認められ、重宝され、大切にされて、何かあっても他の足りないところを自分が補い、自分が足りないところを他が補うことが当たり前になる世界。LGBTQという言葉がなくなり、LGBTQが当たり前を受け入れられる世界。
- 自分も周りともわざと合わせず自分らしく生き、社会もそれに対して過ごしやすい雰囲気を作る。
- みんなでリスペクトし合える社会。
- お互いの気持ちを分かり合い、否定をせずに受け入れることができる社会のことだと思う。

[別紙③]

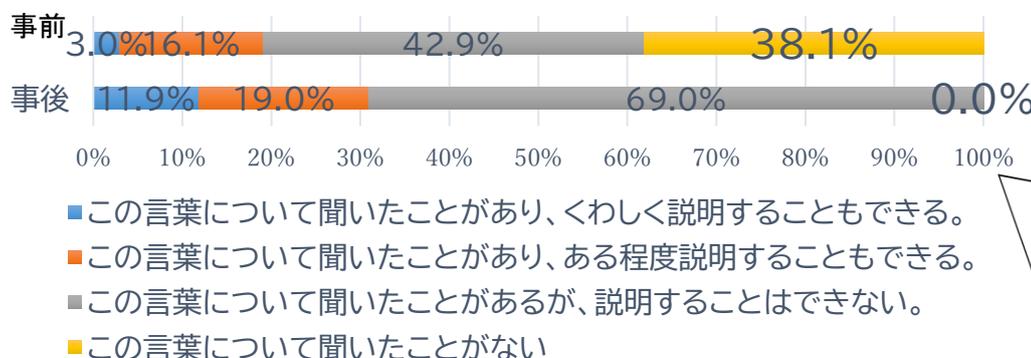
性の多様性に関するアンケートの結果（上段：事前 下段：事後）

【知識】LGBTについて



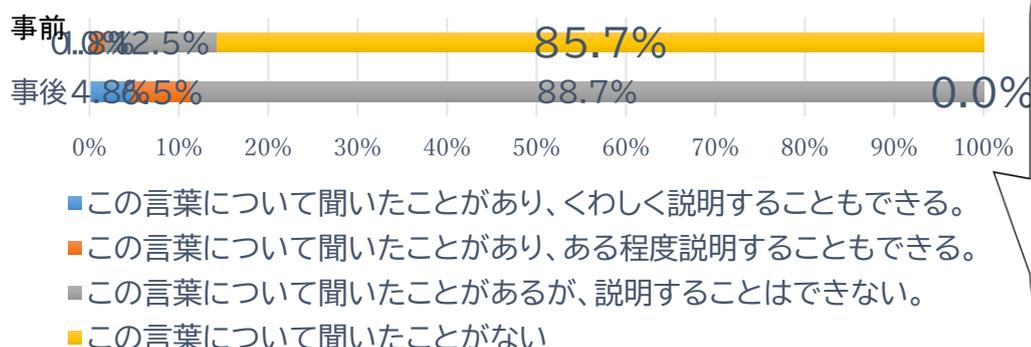
「詳しく説明できる」生徒
 ・ 2.4%→12.5% 10.1%増
 「ある程度説明できる」生徒
 ・ 17.9%→38.1% 20.2%増
 「聞いたことがない」
 ・ 46.4%→0% 46.4%減

【知識】カミングアウトについて



「詳しく説明できる」生徒
 ・ 3.0%→11.9% 8.9%増
 「ある程度説明できる」生徒
 ・ 16.1%→19.0% 2.9%増
 「聞いたことがない」
 ・ 38.1%→0% 38.1%減

【知識】アウティングについて



「詳しく説明できる」生徒
 ・ 2.4%→12.5% 10.1%増
 「ある程度説明できる」生徒
 ・ 1.8%→6.5% 4.7%増
 「聞いたことがない」
 ・ 85.7%→0% 85.7%減

☆事前アンケートから「LGBT」「カミングアウト」「アウティング」について、「聞いたことがない」と回答した生徒が「LGBT:46.4%」「カミングアウト 38.1%」「アウティング:85.7%」と、授業者が想定していたよりも多くの生徒が知らない実態が分かった。

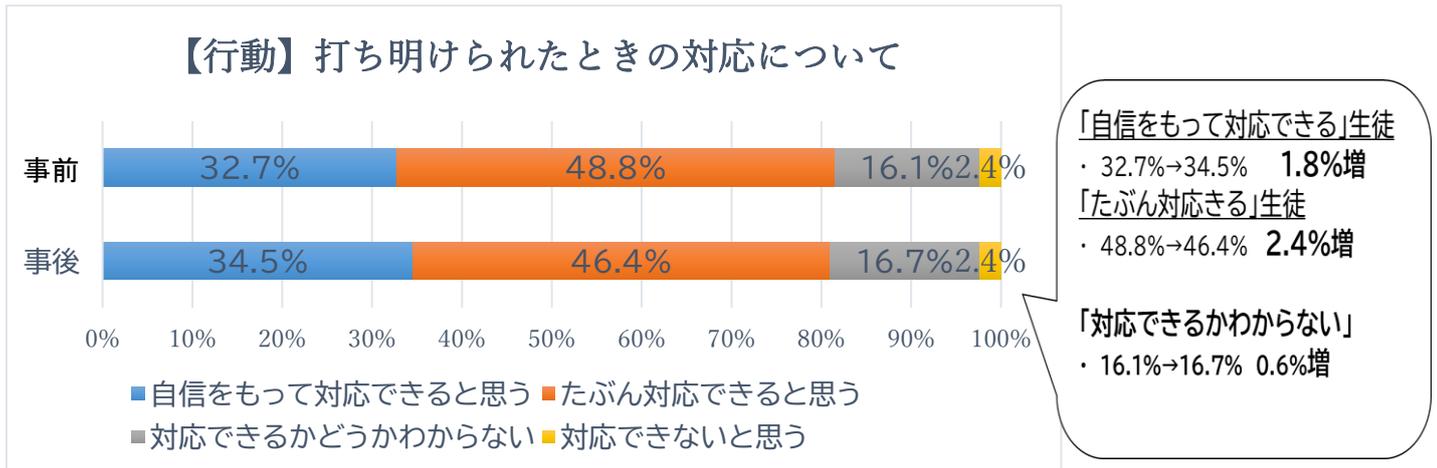
☆授業の実施により、事後アンケートで「詳しく説明できる」「ある程度説明できる」と回答した生徒が大幅に増加し、「聞いたことがない」と回答した生徒は0%となった。

☆このことから、「知識」としても、授業において示していくことが重要であることが分かる。



[別紙④]

性の多様性に関するアンケートの結果2



☆このアンケート項目では、「自信をもって対応できると思う」と回答した生徒が 32.7%から 34.5%に微増し、「たぶん対応できる」が 48.8%から 46.4%と微減した。また、「対応できるかわからない」と回答した生徒も 16.1%から 16.7%へと微増している。このアンケート結果の理由として、事前アンケートでは、打ち明けられることに対して現実味をもてていなかったが、授業を通して、自分ごととしてとらえられるようになり、より現実味が増したことにより「対応できるかわからない」の割合が高くなったと考えられる。このことから、今後も普段の教育活動の中で意識することが大切で、さらに継続して取り組んでいく必要があると考える。また、この結果を教職員全体で共有し、今後実施する全校道徳においてもこの部分を意識して取り組んでいきたい。

